



# オーストラリア直送レポート

**Vol.1** 2025.8.8～ いざオーストラリアへ！

ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課 栗栖  
吉備中学校 平野

パーマストーン校グループ／教育委員会社会教育課 児玉  
八幡中学校 熊ノ郷

## [ドリップストーン校グループ]

### ●8月8日から9日の主なスケジュール

きびドームでの出発式 → 関西国際空港 → シンガポール・チャンギ国際空港（乗り換え） →  
→ ダーウィン国際空港 → 各ホストファミリーの家庭へ

約2か月の事前研修では英語での1分間スピーチ(自己紹介)やグループ発表、英語レッスン、課題では研修テーマや研修ノート、Dear my hostfamily の作成など保護者の皆さまの多大なサポートのもと、しっかり準備を行い、無事出発の日を迎えることができました。

19時半からきびドームで行われた出発式には、少し不安そうでありながら、たくさんの期待と楽しみを持って集まったのではないのでしょうか？保護者や学校の先生に見送っていただき、関西国際空港に移動する間もわくわくしている様子でした。

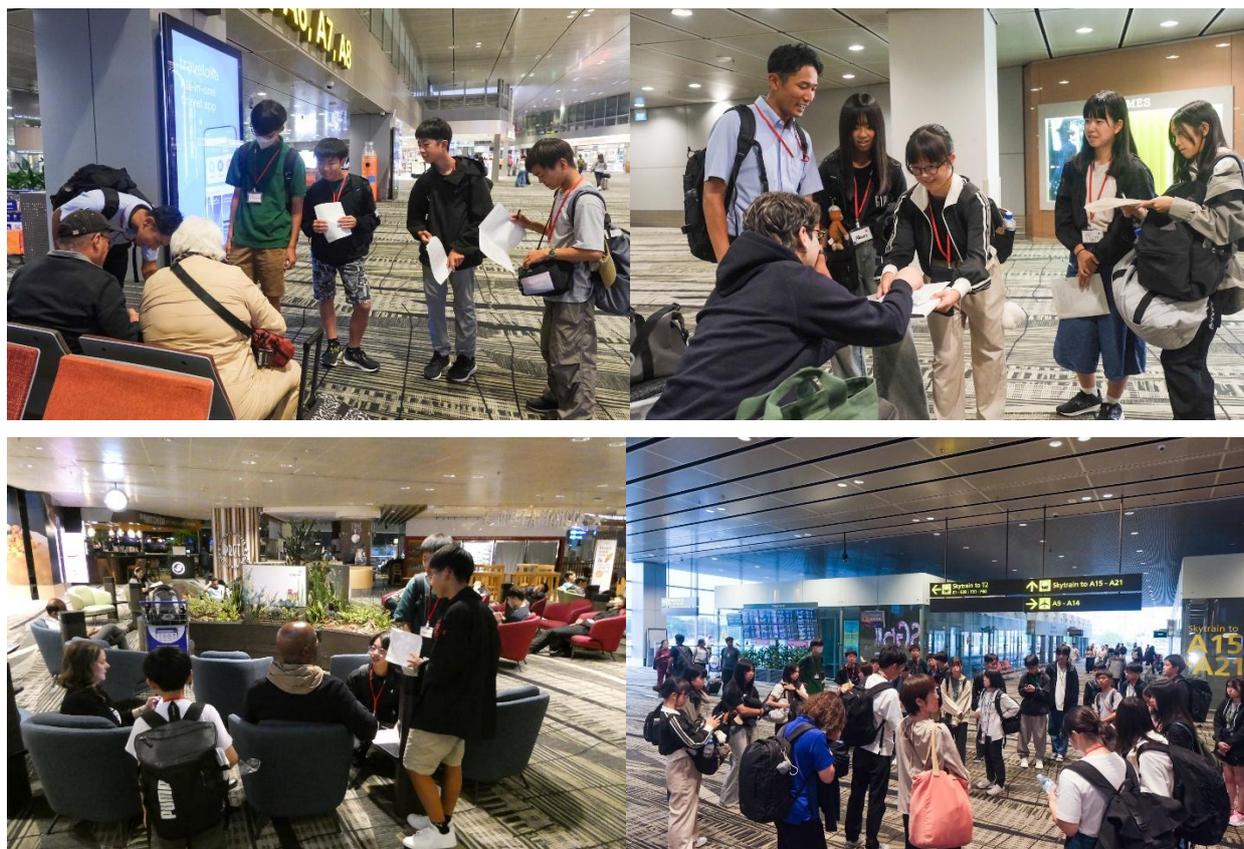
関西国際空港では、まず航空券を添乗員の方から渡してもらい、より実感が湧いてきているようでした。次に、荷物の預け入れから始まり、手荷物の保安検査です。航空券とパスポートを片手に緊張しながら進みます。特に水分の持ち込みについて、気になる生徒たちが多かったようでした。無事検査を通過し、ほっとする生徒たちと、残念ながら(100ml以上の水分などを)没収された生徒もいましたが、ひとつの経験になったのではと思います。

午後11時頃までは待機時間でした。待機場所付近には土産物店や飲食店、自動販売機などがあり、多くの生徒たちは約5時間のフライトに備え、水分などを購入していました。またこの時間には、外国人旅行者に質問をするという英語のミッションにも挑戦しました。初めは先生のサポートを受けながら、質問の準備を入念に行い、緊張しながら質問をしていました。

チャンギ国際空港までは大型の飛行機での移動でした。他の乗客も多く、席が離れてしまう生徒が多い中、英語での対応で機内食をもらい、睡眠もとりながらの移動でした。飛行機の揺れの関係で、機内食の提供に時間差もあり、よく眠れた生徒もいれば、あまり眠れなかった生徒もいたようでした。

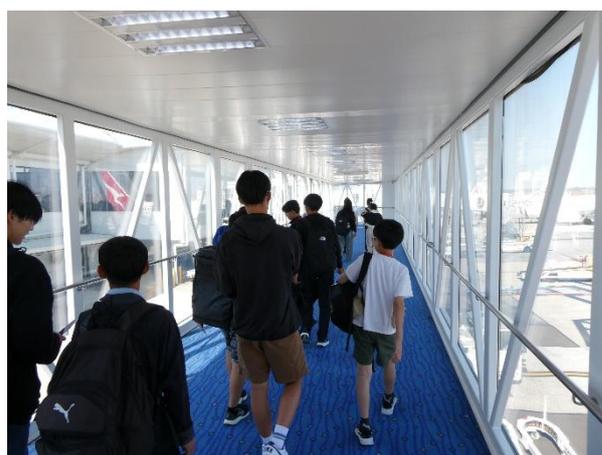
早朝の薄暗い中、チャンギ国際空港に着き、(空港内にある)モノレールに乗り移動します。そしてこ

こでも約2時間の待ち時間があり、引き続き英語のミッションを行います。積極的に取り組み、少しずつですが、より楽しく話せるようになっていたと思います。



日が昇り明るくなった頃から、小さめの飛行機でダーウィンに移動します。生徒同士席が隣になることが多く、機内では入国カードを書いたり、機内食を食べたり、各々（映画を見たり、音楽を聴いたり、寝たり…）の時間を過ごしながら移動しました。

3時頃ダーウィンに到着し、入国審査を受けます。パスポートの提示や写真撮影、英語での質問や荷物検査があり、とても緊張したのではないのでしょうか。全員無事通過し、空港内で待っていたホストファミリーや現地の学校の先生と初対面です。皆さん笑顔で出迎えてくれ、各家族ごとに写真を撮らせてもらい、各々の家庭に向かっていきました。生徒たちは緊張していたようですが、土日は、ホストファミリーたちと休日過ごし、月曜日からはドリップストーン校に登校です。生徒たちが安全に、かつより良い経験ができるようにサポートしていきます。





### [パーマストーン校グループ]

6月から始まった事前研修期間を終え、ようやく出発の日となりました。19時30分の集合時間にあわせて、研修生たちが続々と大きなスーツケースを押しながらやってきました。ホームステイでどんなものがいいのか、おみやげはどんなものが喜ばれるかなど、この日までいろいろなことを考え、いろいろな思いをこのスーツケースに詰め込んできたことなのでしょう。持ち物などの最終確認をしたあと、教育長から激励の言葉をいただき、研修生たちの顔は一段と引き締まったように感じました。20時頃、バスに乗り込みいよいよ出発となりました。保護者や学校の先生などたくさんの方が見送りに来てくださり、研修生もバスの中から手を振って応えました。家族と長期間離れる生活のスタートに研修生はどんなことを思ったのでしょうか。



空港に到着すると、スーツケースを預けて、保安検査を行います。はじめて保安検査を受ける人も多かったのですが、前の人の動きを見ながらそれぞれ対応していました。残念ながら持ち物を没収されてしまうこともありました。これも一つの勉強になったいい経験にとらえればよいと思います。飛行機に搭乗するまでの間は1時間ほど自由時間がありました。お腹がすいてコンビニを探して歩きまわっている研修生、外国人観光客にインタビューをしに行く研修生などそれぞれの時間を過ごしました。



深夜 12 時頃、飛行機は研修生たちを乗せて関西空港から離陸しました。まずはシンガポール・チャンギ空港を目指します。機内食は1時～2時頃にかけて提供されましたが、揺れが強かったため、飛行機酔いで食事を摂れなかった研修生もいたようです。機内で睡眠をとったあと、早朝にシンガポールに到着しました。ここでも研修生たちは外国人インタビューに積極的に取り組んでいました。最初は先生に同行してもらっていましたが、やり方がつかめてくると、研修生たちだけで外国人に声をかけることができるようになってきました。

ここからは一回り小さな飛行機に乗り換えてダーウィンに向かいます。窓の外を眺めていると、飛行機から赤土の大地が見えて、ようやくダーウィンに到着です。入国審査が終わり、ゲートを出るとホストファミリーが待っていました。緊張した表情でしたが、きっと1週間でいい関係を築いてくれることと思います。

来週の月曜日からは学校での活動が始まります。私たちも、研修生たちが素晴らしい体験ができるように全力でサポートしていこうと思います。

